

2019年4月26日発行

### 今井館の由来

高木 謙次



今井館は、新宿角筈<sup>つのはす</sup>にある二百坪の借地より、新宿柏木<sup>かしわぎ</sup>の三百坪の借地に移転した時に、内村鑑三本宅の傍らに建てられたものである。以後二十年間、増改築や補修を重ねながら、伝道の拠点として、聖書集会、教友の宿泊所として活用された。

昭和五年内村没後は柏木教会（後東京教会と改称）が管理し、戦後は矢内原忠雄が聖書集会場として使用した。

一建物であるが、そこに一筋の信仰と精神がつまめかれ、エクレシヤとしての歴史や戦いがあった。内村が『東京独立雑誌』を廃刊するとき、今井樟太郎<sup>くすたろう</sup>は書簡にて「先生の捲土重来の日が近からんことを祈る」と励ました。その書簡は内村にとって「暗夜の中に明星を認む

る」ものであり、その後『聖書之研究』創刊号に「イ、ク」と氏名を略して書簡全文を掲げた。二人の間に固い友情が結ばれた。ところが明治三十九年六月五日、今井樟太郎が脳溢血で召された。享年三十八歳であった。妻信子三十四歳、長女ゆう十六歳が残された。夫の一周忌の時、信子は立派な墓標を建てるよりも、夫の意志を継ぐことを考えて、内村に千円の寄付を申し出たのである。明治四十年六月五日、内村は今井樟太郎追悼演説「交友の秘義」と題して大阪天満教会で語った。豊かな内容で感動を覚える。今井館を信子からの寄付によって建設するとき、内村自身も教友より五百円を借りて加えた。その様子はベル宛（アメリカの友人）書簡に記されている。内村没後、昭和十年、道路拡張のために立ち退きを余儀なくされて、目黒区への移築となった。場所の選定や移築の際の材木の取扱い等々、斎藤宗次郎をはじめ、

多くの教友のご苦労があった。最初の建物の雰囲気を残し、今日に至っている。

写真の香料案内は10数年前、古書店に見出した。ええっ！とびっくりした。奥ゆかしいカラーの表紙である。内村の今井樟太郎追悼文が収められている。

（市川聖書集会主宰）



# 目次

表紙・巻頭言	
目次・内村鑑三の言葉・	各地からの報告……………13
表紙について・発行趣旨……………2	定期集会・地域別特別集会等 ……15
内村鑑三記念キリスト教講演会（東京）…3	没後50年の斉藤宗次郎像……………18
内村鑑三記念キリスト教講演会（大阪）…5	事務局便り……………19
内村鑑三記念キリスト教講演会（名古屋）7	維持会員募集のお知らせ・編集後記…20
学校・学寮だより……………9	

## 内村鑑三の言葉

### 希望の泉

内村鑑三

時に失望の、わが生涯に荒廃を来たさざるにあらず。その時、草は枯れ花は落ち、四面ただ茫々たる砂漠と化するを見る。しかるに見よ、わが深き所に水の動くあるを。しかしてその、うるおいに会うて、わが霊はまた芽を吹き枝を出だす（ヨブ記14・7-9）。今に至ってわれは知る、われに永遠尽きざるの泉あるを。しかしてこの世の何ものも、これを乾（ほ）し涸らすことあたわずして、その、わが内にありて、わき出でて、われをして永生に至らしむることを（ヨハネ伝4・14）。

『聖書之研究』1910年8月。『内村鑑三信仰著作全集』7巻、教文館、1964年

（選：NPO法人今井館教友会理事長 大山綱夫）

#### ○表紙について

今井樟太郎氏が著した『香料案内』の表紙とその扉に掲げられた肖像。肖像写真には墓碑銘に刻まれている内村鑑三が献呈した詞「馨はしき人ありたり、馨はしき業に従事し、馨はしき生涯を送れり、茲に馨はしき記念を留む」が添えられている。氏が創設された永廣堂本店は社是「馨しき業いを通じ 馨しき社会作りに貢献しよう。」を掲げ、120余年間堅実な経営を続け発展をとげ、香料業界で重きをなしている。

今井樟太郎追悼演説「交友の秘義」は内村鑑三全集第十五巻に収録されている。

『香料案内』の原本が（株）永廣堂本店社長の今井俊郎氏より寄託された。それとは別に当館には国会図書館のPDFよりダウンロードされたコピー版もあり、閲覧できます。

（K. N.）

#### 『今井館ニュース』発行趣旨

NPO法人今井館教友会は、キリスト教の精神に基づいて、今井館を維持・管理・運営し、内村鑑三（無教会の提唱者）及び彼につらなる者たちの広範かつ多面的な思想と活動を自ら調査・研究するとともに、他の個人と団体による調査・研究をも奨励・支援し、それら自他の調査・研究成果の社会一般への普及に努めて、正義と隣人愛を基調とする平和的な社会の形成と発展に寄与することを目的とする（定款第3条）。その目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として今井館ニュース発行を通じ「内村鑑三及び彼に連なる人々の思想と活動を調査・研究・発表する事業」を行うものとする（定款第5条3項）。